

# 令和3年度宮城県地域医療構想調整会議（仙南区域）

日 時 令和3年11月8日（月）  
午後5時00分から午後6時30分まで  
場 所 大河原合同庁舎2階201会議室

## 次 第

### 1 開 会 2 挨 拶 3 議 事

- (1) 地域医療構想調整会議における議論の進め方について・・・資料1
- (2) 医療需要の将来推計と医療提供体制の現状について・・・資料2
- (3) 医療機関ごとの具体的な対応方針について・・・資料3
- (4) その他の共有事項について・・・資料4
- (5) 定量的な基準について・・・資料5
- (6) 病床機能再編支援事業について・・・資料6
- (7) 過剰な医療機能の増床予定について 【非公開】・・・資料7

### 4 閉 会

< 配 付 資 料 >

- 
- (資料1) 地域医療構想調整会議における議論の進め方
  - (資料2) 医療需要の将来推計と医療提供体制の現状（仙南区域）
  - (資料3-1) 新公立病院改革プランの概要、公的医療機関等2025プランの概要
  - (資料3-2) 医療機関ごとの具体的な対応方針（公立・公的医療機関以外）
  - (資料4) その他の共有事項
  - (資料5) 定量的な基準について
  - (資料6-1) 病床機能再編支援事業について
  - (資料6-2) 令和3年度病床機能再編支援事業を活用予定の医療機関の事業計画（案）について
  - (資料7) 過剰な医療機能の増床予定に関する理由書
  - (参考資料) 令和2年度病床機能報告結果（概要版）【病院（病棟ベース）】

## 令和3年度宮城県地域医療構想調整会議(仙南区域) 出席者名簿

### 【委員】

(順不同・敬称略)

分野	No	氏名	所属	備考
医師会	1	佐藤 和宏	宮城県医師会 会長	自院等
	2	小松 和久	白石市医師会 会長	座長・大河原会場
	3	平井 完史	柴田郡医師会 会長	自院等
	4	高山 敦	角田市医師会 会長	自院等
歯科医師会	5	千木良 尚志	仙南歯科医師会 会長	自院等
薬剤師会	6	瀬戸 裕一	仙南薬剤師会 理事	自院等
看護協会	7	大桐 規子	宮城県看護協会 仙南支部 理事	大河原会場
病院	8	宮崎 修吉	みやぎ県南中核病院 院長	自院等
	9	伊藤 貞嘉	公立刈田総合病院 病院長代行	自院等
	10	大友 正隆	丸森町国民健康保険丸森病院 院長	大河原会場
	11	岡田 信司	国民健康保険川崎病院 院長	大河原会場
	12	伊妻 壮晃	蔵王町国民健康保険蔵王病院 院長	自院等
	13	福島 浩平	大泉記念病院 院長	自院等
	14	早坂 弘人	仙南病院 院長	大河原会場
	15	安藤 正夫	金上病院 院長	自院等
保険者	16	曾根 正樹	全国健康保険協会宮城支部 業務部長	県行政庁舎
	17	岩淵 昇	健康保険組合連合会宮城連合会 常任理事	県行政庁舎
市町村	18	後藤 滝雄	白石市保健福祉部 部長	自院等
	19	高橋 正明	角田市市民福祉部 部長	大河原会場
保健所	20	荒井 由美子	宮城県仙南保健所 所長	副座長・大河原会場

### 【地域医療構想アドバイザー】

氏名	所属	備考
橋 本 省	宮城県医師会 副会長	自院等
藤 森 研 司	東北大学 大学院 医学系研究科医療管理学分野 教授	自院等
石 井 正	東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授	自院等

### 【病院事業管理者】

氏名	所属	備考
山 田 裕 一	白石市外二町組合 管理者	自院等
下 瀬 川 徹	みやぎ県南中核病院企業団 企業長	自院等

### 【東北厚生局】

氏名	所属	備考
竹 蓋 智 一	厚生労働省 東北厚生局 健康福祉部 医事課 地域医療構想等推進専門官	県行政庁舎

### 【事務局】

氏名	所属
遠 藤 圭	宮城県 保健福祉部 医療政策課長
吹 谷 大 祐	同 医療政策課 医療政策専門監
佐 々 木 宏 一	同 主幹(企画推進班長)

## 1. 開 会

### ○司会

ただいまから、令和3年度宮城県地域医療構想調整会議（仙南区域）を開催する。

## 2. 挨拶

### ○司会

開会にあたり、県保健福祉部医療政策課長の遠藤からご挨拶申し上げます。

### ○遠藤保健福祉部医療政策課長

【挨拶】

## 3. 議 事

### ○司会

本日の調整会議の座長は、白石市医師会小松会長にお願いしている。

### ○小松座長

次第に従い議事を進める。(1) 地域医療構想における議論の進め方について、(2) 医療需要の将来推計と医療提供体制の現状について、事務局から説明をお願いします。

### ○事務局

【資料1及び2により説明】

### ○小松座長

ただいまの説明について質問等があればお願いします。

特にないようなので、項目(1)、(2)については、これで終了とする。

続いて(3) 医療機関ごとの具体的対応方針について、(4) その他の共有事項、(5) 定量的な基準について、事務局から説明をお願いします。

### ○事務局

【資料3、4及び5により説明】

### ○小松座長

ただいまの説明について質問等があればお願いします。

特にないようなので、項目(3)、(4)、(5)についてはこれで終了とする。

続いて、(6) 病床機能再編支援事業について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

【資料6により説明】

○小松座長

ただいまの説明について、公立刈田総合病院の山田管理者から補足をお願いします。

○山田管理者

ただいまの説明のとおりであり、特に補足はない。

○小松座長

伊藤院長代行からは何かあるか。

○伊藤委員

特にない。

○小松座長

ただいまの説明について質問等があればお願いします。

○下瀬川企業長

表の右側の方針・考え方の欄に、「結核・感染症病床の8床は、急性期医療を担当するみやぎ県南中核病院が担うべき」とあるが、山田管理者はこれでよろしいのか確認したい。

○山田管理者

前回の調整会議で私からもお話をさせていただいたとおり。今後の仙南医療圏全体を考慮すると、県南中核病院で結核・感染症を対応するのが、普通に考えてスムーズかと考えており、この方向でお願いしたい。

○下瀬川企業長

他の医療機関の皆様からもその方向でよろしいのであれば、当院で感染症対応についても診療体制をきちんと整備していくこととしたい。

○事務局

山田管理者、下瀬川企業長からお話をいただいた件について、皆様から異論がなさそうなので、今後、結核・感染症病床を移すために担当課と手続きを進めることとする。

なお、新型コロナ対応では、これまで感染症指定医療機関である公立刈田総合病院にも相応の病床の提供などのご協力をいただいたところだが、仙南保健所では、病床の確保は

非常に苦勞をした。新型コロナ対応という点では、指定を受けていない他の主要病院にもお願いをしているところであるため、感染症指定医療機関を移すかどうかに関わらず、刈田病院には引き続き地域の役割を担っていただきたい。

#### ○曾根委員

全国健康保健協会では平成30年度と本年1月に健康保険委員約5,000人に対して、アンケートの実施を行い、2,010件の回答を得ている。社会保険事務担当者が中心ではあるが、本年の1月に実施したアンケート結果では、地域医療構想に対する認知度として、「知っている」と回答した人は6%、「知らない」と回答した人が48%、残りは「聞いたことはあるが内容は知らない」という結果であり、平成30年度に実施した結果と殆ど変わっていない。これまでもこの調整会議において、情報発信についての意見を出していたが、これに対する県のコメントは「この会議の結果をホームページに掲載して、周知する」、「情報発信の手段として県政だより、新聞等に掲載している」との回答をいただいたが、県の分析データ等を活用していただき、広く県民への周知をお願いしたい。また、地域医療構想の確実な実現に向けた中心的な役割を担う機関について、平成30年度の結果と比較すると、国に期待する声が43%から14%に減少し、県に期待する声のほうが44%から75%に増えている。これまで以上に県に対する期待が高まっているので、ご報告をさせていただく。

#### ○佐藤委員

今回の新型コロナ対応では、中核病院、刈田病院の両病院に入院受入をしていただき、本当に感謝をしている。また、民間病院もワクチン接種、検体採取について、発熱外来等で非常に活躍をしたものと考えている。仙南全体を考えると、綺麗ごとのようだが、今後、公立5病院、民間5病院が共存共栄で、役割分担をしながら、仙南の住民のために医療を行っていくのが理想である。

懸念することとしては、刈田病院の機能が急性期から回復期等へ移っていくことで、県南中核病院の急性期の重要性がますます増してくる。県南中核病院の救急車受入の負担は既に相当なもので、朝の3時でも不夜城のごとく電気が煌々としており、本当に大変な仕事をしている。このような状況の中で、さらに負担が掛かると、県南中核病院の医療にも支障が出てくる。役割分担ということではあるが、一極集中し過ぎると、結果として我々に跳ね返ってくることになりかねず、懸念している。今後は、県と我々皆でサポートをしていく必要がある。

#### ○小松座長

ほかに質問等はあるか。

特にないようなので、項目(6)についてはこれで終了とする。

次の議事は非公開となるので、この場で何かあるか。

○事務局

本日は、各医療機関の連携に繋がる今後の役割分担について、ご確認いただけたと思っている。これまでも、各医療機関の機能や規模の見直しについて、調整会議の場で協議をし、了解をいただきながら進めてきた。これについては、地域医療を支える上で重要な手続きと考えている。今後、様々な見直しが出てくると思うが、皆様にご了解いただく手続きをきちんと踏みながら進めて参りたい。引き続き、ご理解ご協力を願いたい。

○小松座長

地域医療構想アドバイザーの藤森先生から何かあるか。

○藤森地域医療構想アドバイザー

仙南地域では回復期を目指す医療機関が増えてきており、2025年の必要病床数が県の中では最も近いと評価できる。刈田病院が機能を変えていく中で、微力ながらお手伝いできればと考えている。

○小松座長

そのほか、事務局から何かあるか。

○事務局

佐藤委員から懸念という話があったが、県南中核病院への急性期の集中は、今年度、大きく進んできている。県南中核病院が地域で担う役割は大きいため、それに対応するための機能強化が必要となった際は、次回以降の調整会議にて改めて皆様にご相談をしたい。また、刈田病院の機能の議論とあわせて、他の病院との連携も踏まえて、地域に必要な機能を充足できるよう、調整を進めて参りたい。

また、本日の会議資料及び議事録については、非公開とする資料7に関する部分を除き、後日、県のホームページに掲載する予定なので、了承願う。

**【非公開】**

○小松座長

皆様の協力で無事、調整会議を終了することができた。司会進行を事務局に返す。

4. 閉 会

○司会

以上をもって、令和3年度宮城県地域医療構想調整会議（仙南区域）を終了する。